中通小学校　学校だより　令和2年度　10月号

たくましい子

令和2年10月2日発行
中通小学校長　川尻　優

秋の運動会」に向けて

新潟県の小学校は、春に運動会を行うことが多いです。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、「秋に運動会」を行うことになりました。今、子どもたちは、秋の運動会に向けて、日々練習に励んでいます。

運動会と言えば「徒競走」は、どの子どもも通る関門の一つです。「徒競走で速く走りたい！」と思っているお子さんは多いと思います。最近では、インターネットで「運動会 速く走るコツ」などと検索すれば、たくさんのサイトが開設されているほどです。

ところで、毎朝、子どもたちの登校の様子を見ていて、気になることがあります。そして、そのことを、先日、毎日防犯パトロールで子どもたちと一緒に登校してくださっている地区の健康推進委員の方からもご指摘いただきました。そのことについて意見交換したことなどないのに、全く同じことを、私とボランティアさんは、心の中で考えていたのです。二人が感じていたことは、「子どもたちが歩くときに、足を真っすぐに着地させることができていない子が少なくない」という点です。左の図で説明すると、上の四足分は真っすぐ着地していますが、中段の四足分は外側、下段の四足分は内側につま先が二十度ほど外側を向いています。

あくまでも机上の試算ですが、靴のサイズが二十二㎝の場合、真っすぐ着地するよりも十度外側あるいは内側に向くと、一歩につき約五㎜後ろに着地していました。五年生の算数の平均の学習で教科書では、五年生の一歩の歩幅の平均を約五十㎝で計算しています。これに当てはめると、百mを約二百歩で歩きます。一歩につき五㎜差が付くので、二百歩では約一mの差が生まれます。これを、先の運動会の徒競走で考えたらどうなるでしょう。歩く場合と走る場合では、走る場合の方が歩幅が広くなりますので、百mで二百歩は当てはまりませんが、足を真っすぐ着地する場合と、つま先が外側あるいは内側を向いてしまう場合とでは、同じスピードであれば、足を真っすぐ着いた方が一mほど先にゴールに到達するという計算になります。こういったことから、「運動会速く走るコツ」でも、足を真っすぐに着地させることが推奨されています。

以前に比べ、外遊びの機会が減り、また、ゲームなどに費やす時間が増えてきて、子どもたちの体を支える力が弱くなってきています。日頃から、姿勢をよくする、背筋をピンと伸ばす、足を真っすぐに着くなど、大人が継続的に声を掛け、子どもたちに意識させると良いかもしれません。「運動会では、絶対一位になるんだよ！」と声を掛けるよりも効果があるかもしれません。

運動会では、皆様からの温かいご声援を、どうぞよろしくお願いいたします。

元気を届けよう　千羽鶴渡し！

９月２１日の「敬老の日」に合わせ、９月２４日(水)、地域にお住まいの今年米寿を迎えられた方々へ、４名のボランティア委員会の児童が、千羽鶴をお届けにまいりました。その様子は、９月２５日付、柏崎日報でもご紹介いただきました。

折り鶴は、子どもたちだけでなく、保護者・地域の皆様や中通コミセンのご協力のもと折られたものです。ボランティア委員会の児童が代表して、１５軒のお宅にお届けいたしました。

子どもたちは、緊張しながらも、折り鶴をお渡ししたときのお年寄りの笑顔を見て、「喜んでいただけてよかった」という気持ちを味わうことができました。

また、先日、地域の方から次のようなお電話をいただきました。

「先日、地域にお住まいの米寿の方のお家に所用で訪問したところ、その方がお庭で草取りをされていました。最近は、ご高齢のためかあまり活動的ではなかったのですが、『中通小の子どもが折り鶴を届けてくれ、もっと元気に過ごそうという気持ちになれました。』とのことでした。」

お電話をくださった方は、中通小の子どもが、地域に元気を与える善いことをしているということをお伝えくださるために、わざわざお電話くださいました。早速、子どもたちにはお電話のことを話しました。子どもたちも嬉しそうでした。中通小は、地域の皆様にお支えいただいておりますことを、改めて実感しております。

留守番電話の導入について

柏崎市教育委員会は、市内全小・中学校に留守番電話を導入することを決定いたしました。導入の理由は次のとおりです。

「昨今、教職員の長時間勤務が社会的問題となっており、本市におきましても、国の働き方改革推進の下、教職員の多忙化解消に向けた業務の見直しを進めているところです。その中で、教職員が働き方を見直し、自らの教師力を磨き、児童生徒により一層効果的な教育を行えるようにするために、業務時間の明確化に取り組んでいます。この一環として、留守番電話を導入することといたしました。」

このことを受け、中通小学校では、次のように運用いたします。ご理解のうえ、ご協力のほどお願い申し上げます。

1　留守番電話の使用開始日 令和2(2020)年10月12日(月)

2　学校が電話対応を行わない時間帯

原則として、次の時間帯は電話対応を行わず、留守番電話となりますが、業務その他の関係で変更することがあります。

(1)　平日 午後6時から翌日午前7時30分まで

(2)　土曜日・日曜日・祝日・学校休業日

終日(ただし、授業や学校行事がある場合の時間帯は、この限りではありません)

(3)　長期休業期間(春季・夏季・冬季)

午後4時45分から翌日午前8時15分まで

3　その他

(1)　保護者の皆様には、先日、柏崎市教育委員会作成のお手紙を配付しております。詳細はそちらにてご確認願います。

(2)　この件に関するお問い合わせは学校(℡28－2004　担当：教頭)までお願いいたします。

１０月の予定

1日(木)　市教委訪問
　　全校5限後放課
2日(金)　1・2年生親子活動
　　グラウンド草取り
7日(水)　クラブ
9日(金)　前期終業式
12日(月)　秋季休業

13日(火)　後期始業式
　　運動会予行練習
14日(水)　第1回移行学級
15日(木)　児童朝会
　　みずほ地区小中交流会
　　移動図書館
16日(金)　1・2年生給食後下校
　　3～6年生運動会前日準備
17日(土)　運動会
18日(日)　運動会予備日
19日(月)　運動会振替休業日

20日(火)　原子力防災訓練
21日(水)　委員会
　　相馬スクールカウンセラー来校
22日(木)　歯科健康教室
23日(水)　ふれあいフェスタ打合せ
26日(月)　花壇整備作業(花抜き)
29日(木)　3年生親子活動
30日(金)　花壇整備作業(球根植え)

※今後の新型コロナウイルス感染予防対策により、予定が変更になることもございます。ご承知おき願います。

【20日(火) 原子力防災訓練について】

PAZ内(原子力発電所から概ね5㎞圏内)の学校における保護者への引き渡し訓練を、柏崎市原子力災害対策本部・柏崎市教育委員会と合同で実施します。柏崎刈羽原子力発電所で原子力災害が発生したことを想定し、児童を保護者に引き渡す訓練です。引き渡しができない児童に関しては、柏崎市原子力災害対策本部が用意したバスに乗り、職員とともに避難します(学校周辺をバスで回り、学校に戻ります)。

原子力災害は絶対に起きてはならないものです。しかし、福島第一原発のことを考えると、絶対に起きないとは断言できません。万が一の事態に備え、初めての大規模な訓練に、真剣に臨みます。